



2022年12月期
決算補足説明資料

2023年2月14日

株式会社
テノ・ホールディングス (証券コード：7037)

teno.
HOLDINGS

Section 1

決算概要 2022年12月期
(全社)

Section 2

決算概要 2022年12月期
(セグメント別)

Section 3

業績予想 2023年12月期
中期経営計画と長期ビジョン

Section 4

トピックス

Section 1

決算概要
2022年12月期
(全社)

増収・減益

（単位：百万円）	2021/12月期	2022/12月期	前年増減比	前年増減額
売上高	11,454	12,128	5.9%	674
売上原価	9,652	10,384	7.6%	731
販管費	1,334	1,589	19.2%	255
営業利益	467	154	▲67.0%	▲313
経常利益	455	156	▲65.6%	▲298
当期純利益 当期純損失（▲）	237	▲27	—	▲264

1

売上高

公的保育 新規1施設開設、前期開設の3施設の通期業績寄与による増収
 受託保育 運営終了施設と新型コロナウイルスの影響による休園等による減収
 M&Aにより連結の範囲に含めた会社（フォルテ、ホームメイドクッキング）が増収に寄与

2

売上原価

公的保育 新規開設した施設の労務費や経費が影響、燃料費等の高騰による全体的な水道光熱費の負担増加
 受託保育 運営施設が休園になり、未稼働の保育施設でも労務費が発生
 M&Aにより連結の範囲に含めた会社（フォルテ、ホームメイドクッキング）の売上原価が影響

3

販管費

事業部門、管理部門それぞれの本部機能強化による人件費増加
 M&A3件実施（1件は2023年1月）によるDD費用及び取得関連費用等の発生
 M&Aにより連結の範囲に含めた会社（フォルテ、ホームメイドクッキング）の、のれん償却費の発生

4

当期純損失

繰延税金資産の取崩しが発生したことで、2022年12月期の最終利益は赤字

繰延税金資産64百万円を取り崩しました。

テノ、サポートの過年度において発生した繰越欠損金に対して、2022年12月期第3四半期時点で繰延税金資産64百万円計上しておりました。

しかしながら、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、検討時点においては回収可能性が低いと判断したため、繰延税金資産の取崩しを行うことにしました。

これにより、法人税等合計が64百万円を増加し、親会社株主に帰属する当期純利益が64百万円減少いたしました。

連結損益計算書概要

(単位：百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率 (%)
売上高	11,454	12,128	+674	+5.9%
売上原価	9,652	10,384	+731	+7.6%
売上総利益	1,801	1,744	▲57	▲3.2%
販管費	1,334	1,589	+255	+19.2%
営業利益	467	154	▲313	▲67.0%
営業外収益	29	35	+5	+18.2%
営業外費用	42	32	▲9	▲22.3%
経常利益	455	156	▲298	▲65.6%
当期純利益	237	▲27	▲264	▲111.6%

連結貸借対照表概要

(単位：百万円)	2021年12月期	2022年12月期	増減額
流動資産	3,215	3,989	+774
売掛金	980	—	▲980
売掛金及び契約資産	—	1,147	+1,147
固定資産	4,079	5,333	+1,254
うち有形固定資産	1,675	1,728	+53
うち無形固定資産	819	1,865	+1,046
うち投資その他の資産	1,584	1,739	+154
資産合計	7,294	9,323	+2,028
流動負債	2,427	3,739	+1,312
うち短期借入金	550	1,140	+590
うち1年内返済予定長期借入金	444	652	+208
うち未払金	718	801	+82
固定負債	2,535	3,402	+867
うち長期借入金	2,390	3,137	+746
純資産	2,331	2,180	▲151
負債・純資産合計	7,294	9,323	+2,028

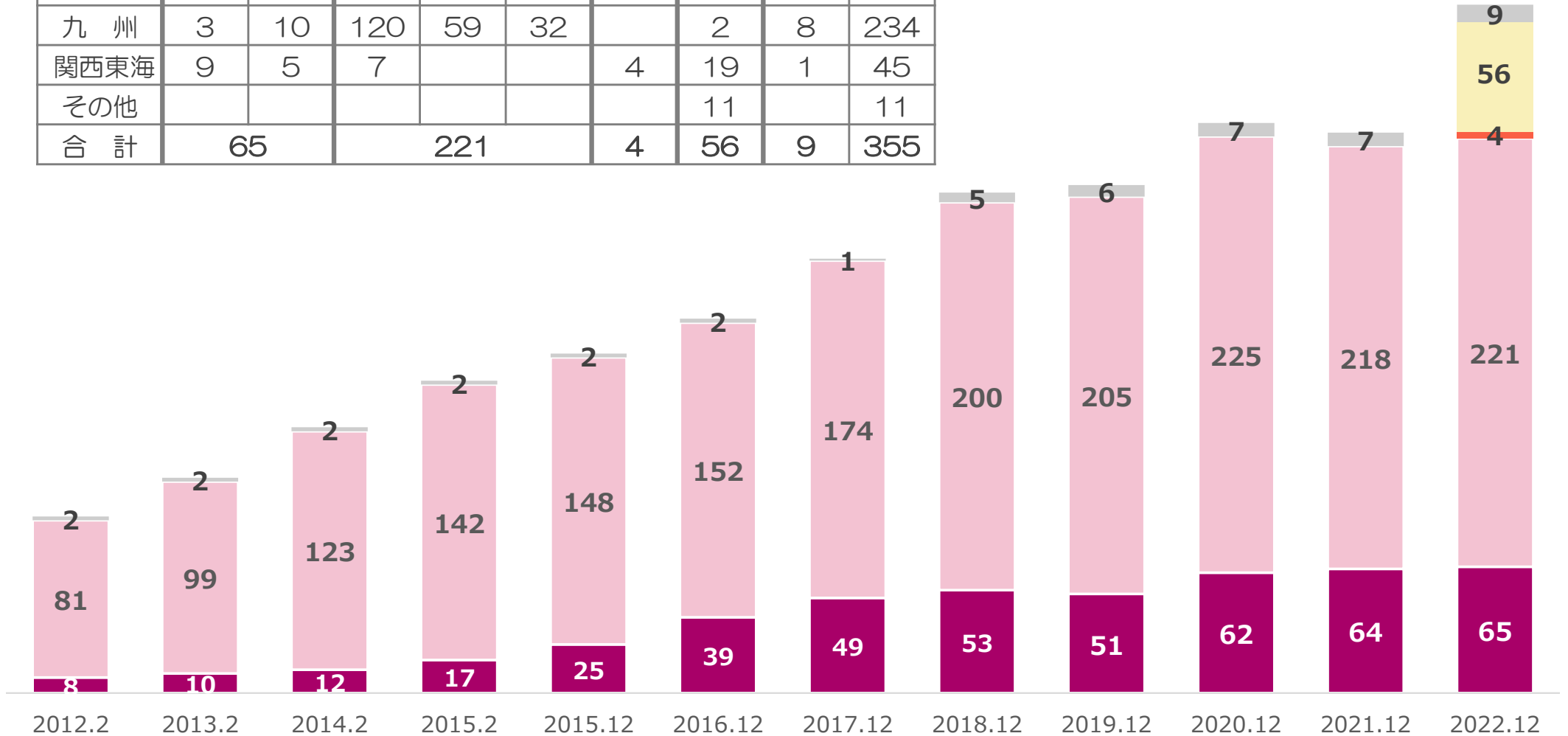
連結キャッシュ・フロー計算書概要

(単位：百万円)	21年12月期	22年12月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	292	297	+4
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲251	▲967	▲716
(フリー・キャッシュ・フロー)	+41	▲670	▲711
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲161	1,037	+1,199
現金及び現金同等物の増減	▲119	+367	+487
現金及び現金同等物の期首残高	1,865	1,745	▲119
現金及び現金同等物の期末残高	1,745	2,113	+367

運営施設数の推移（セグメント別）

■ 首都圏、九州を中心に保育施設、介護施設及び料理教室を運営
 <2022年12月末 地域別施設別明細表>

	公的保育事業		受託保育事業			介護事業	生活関連支援事業	その他	合計
	認可	小規模認可	受託保育所	学童保育所	わいわい				
首都圏	34	4	3				24		65
九州	3	10	120	59	32		2	8	234
関西東海	9	5	7			4	19	1	45
その他							11		11
合計	65		221			4	56	9	355

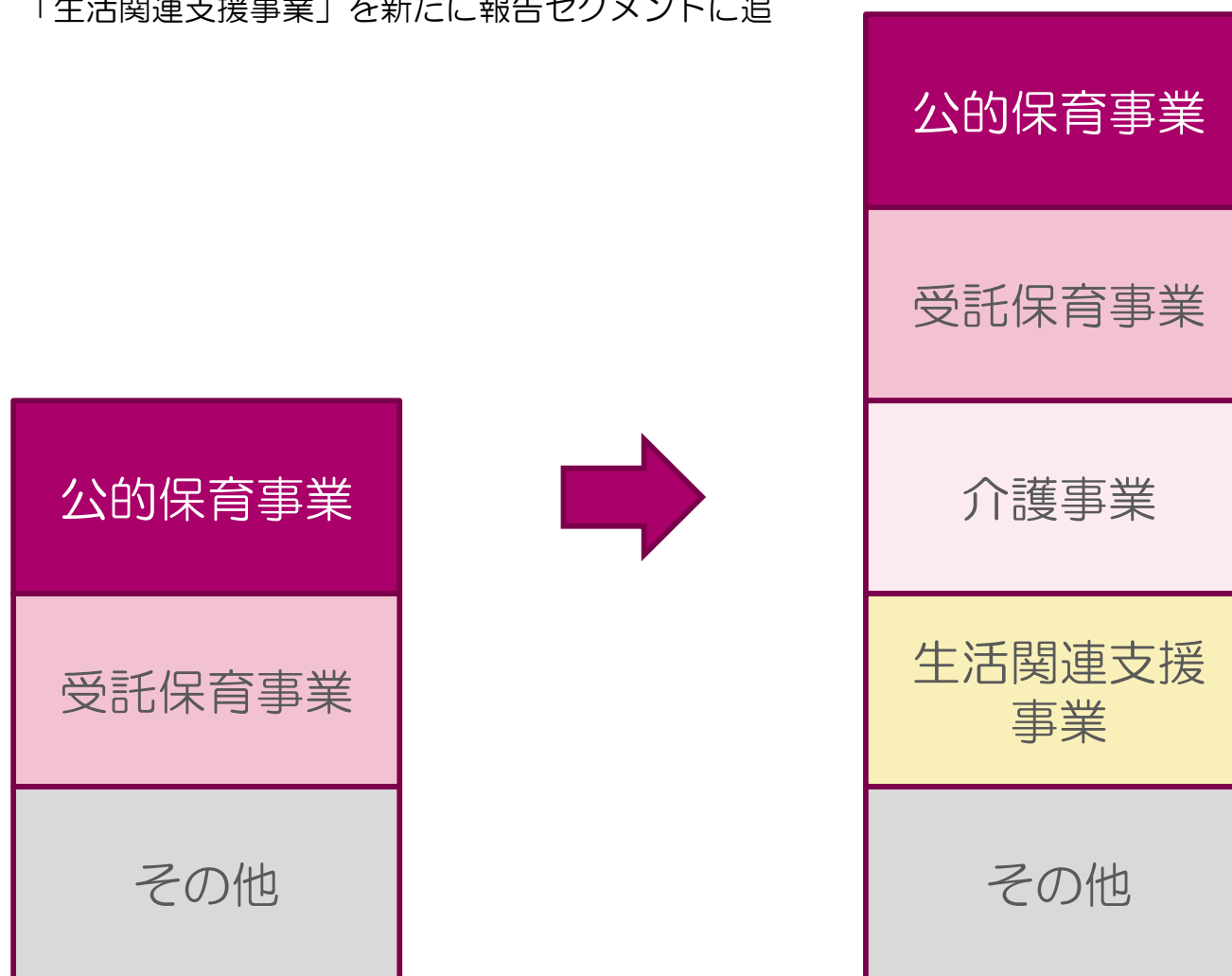


Section 2

決算概要
2022年12月期
(セグメント別)

セグメントの追加について

- 株式会社フォルテの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより「介護事業」を新たに報告セグメントに追加いたしました。
- 株式会社ホームメイドクッキングの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「生活関連支援事業」を新たに報告セグメントに追加いたしました。



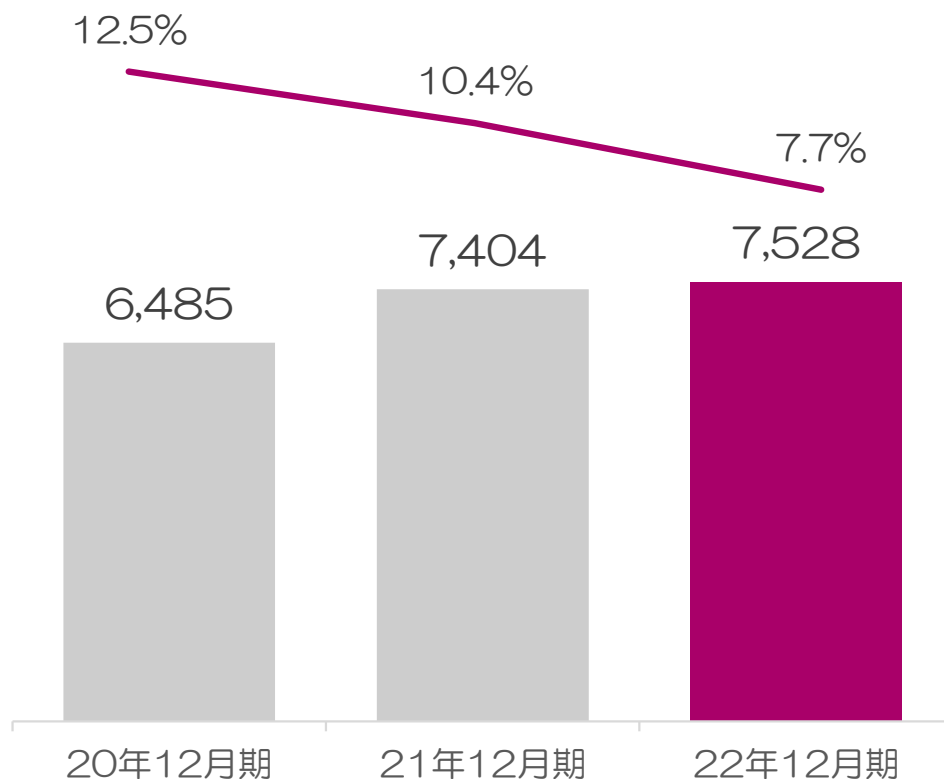
これまで

22年12月期

セグメント別【公的保育事業】 増収・減益

(単位：百万円)	20年12月期	21年12月期	22年12月期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	6,485	7,404	7,528	+123	+1.7%
セグメント利益	807	771	577	▲194	▲25.2%
同利益率	12.5%	10.4%	7.7%	—	—

売上高／営業利益率



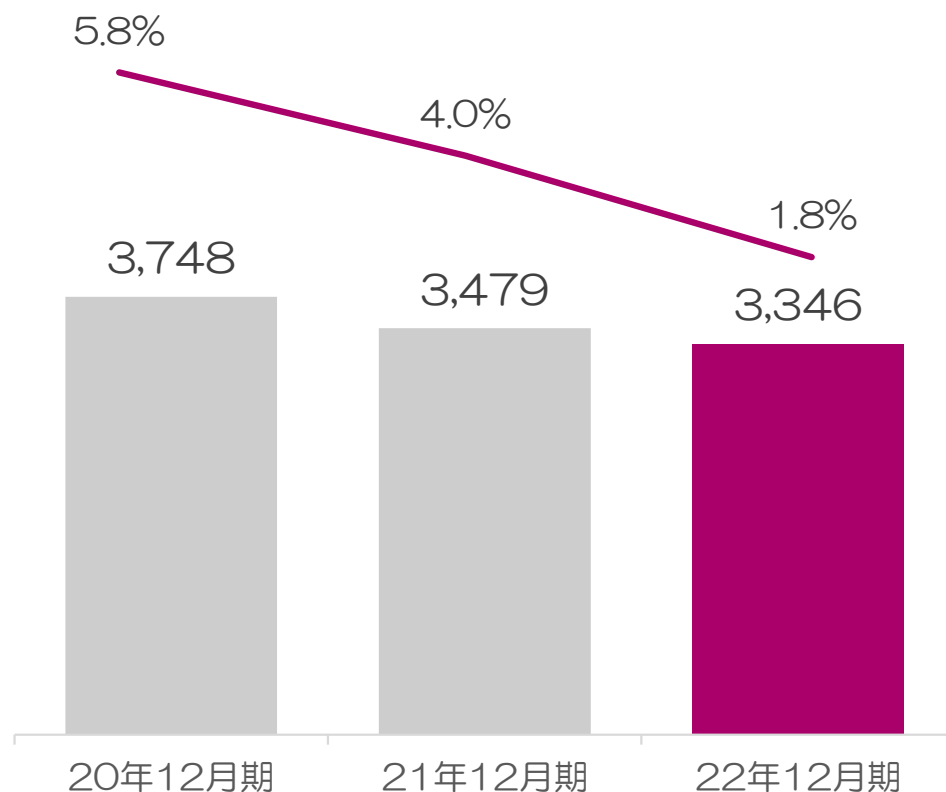
<ポイント>

- 4月に新規開設した1施設と、一昨年度前に開設した3施設が貢献したことによる増収。
- 利益面については、新規開設費用、水光熱費・給食費等の高騰、及び本部の人件費の増加により利益を圧迫した。
- 施策として、保育の質の向上及び効率的な運営の充実に注力
 - ・ デジタル化などによるコスト削減
 - ・ 従業員満足度を高め、離職防止の効果が期待されるチームエンゲージメントセンターの設立
 - ・ 質の高い保育を目的とした、社内教育の充実

セグメント別【受託保育事業】 減収・減益

(単位：百万円)	20年12月期	21年12月期	22年12月期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	3,748	3,479	3,346	▲132	▲3.8%
セグメント利益	218	138	59	▲79	▲57.1%
同利益率	5.8%	4.0%	1.8%	—	—

売上高／営業利益率



<ポイント>

- 受託保育事業における運営施設数は、218施設から221施設に増加（受託保育所6施設、学童保育所は3施設が新規開設）した。
- 昨年3月末に運営を終了した受託保育所の影響
新型コロナウイルス感染症の影響によって休園となった施設の稼働率減少による減収
- 上記の減収減益に伴い、収益改善のため、受託保育所にかかる委託単価見直し及び新規案件獲得に継続注力。今後も新型コロナウイルスの影響による、既存受託保育所の稼働状況に関しては、継続注視。

新規追加セグメント

(介護)

2022年1月に子会社化をいたしました株式会社フォルテを当該セグメントに追加いたしました。



売上高	481百万円
セグメント利益	35百万円

施設数： 4施設

2022年12月期 業績に11カ月寄与

【施設数】 4施設（大阪府）

内訳：住宅型有料老人ホーム 3施設

サービス付高齢者向け住宅 1施設

（施策）入居者増加に向けた活動に注力、新規施設開所についての検討を行いました。



新規追加セグメント

(生活関連支援)

2022年11月に子会社化をいたしました株式会社ホームメイドクッキングを当該セグメントに追加いたしました。

売上高	134百万円
セグメント利益	19百万円

施設数： 56施設（校）

2022年12月期は業績1カ月分寄与

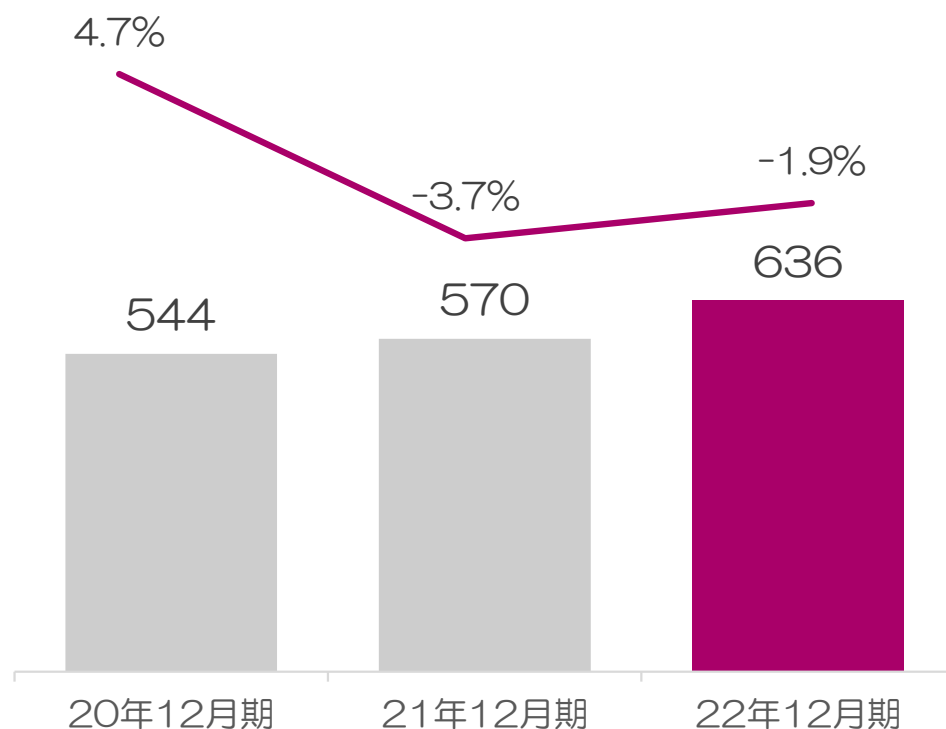
【施設数】 56 施設（全国展開）

内訳：料理教室直営校 56校（全国に展開）



(単位：百万円)	20年12月期	21年12月期	22年12月期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	544	570	636	+65	+11.5%
セグメント利益	25	▲20	▲12	+8	—
同利益率	4.7%	▲3.7%	▲1.9%	—	—

売上高／営業利益率



<ポイント>

- その他における運営施設数は、7施設から9施設に増加（通所介護施設1施設、地域型保育事業施設は1施設が新規開設）したことで、増収に貢献。
- 新規開設及び新規事業（結婚相談所、保活アシスト）の活動による、広告宣伝費等のコストが先行。
- 今後は、上記の新規に運営を開始した施設及び新規事業の収益化に注力。

Section 3

業績予想 2023年12月期
中期経営計画と長期ビジョン

増収・増益予想

(単位：百万円)	2022年 12月期 実績	2023年 12月期 予想	増減率	増減額
売上高	12,128	15,170	+25.1%	+3,041
営業利益	154	320	+107.5%	+165
経常利益	156	285	+82.0%	+128
当期純利益※	▲27	137	—	+164

※親会社株主に帰属する当期純利益

- 2023年度の施策方針演説にて「次元の異なる少子化対策」を発表
 - 子育てへの経済支援の強化
 - 幼児教育、保育などの子育てサービスの充実

- 2023年4月「こども家庭庁」の設置
 - 少子化に加え、児童虐待や不登校の件数が増加したことから、こどもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しするための司令塔として設置

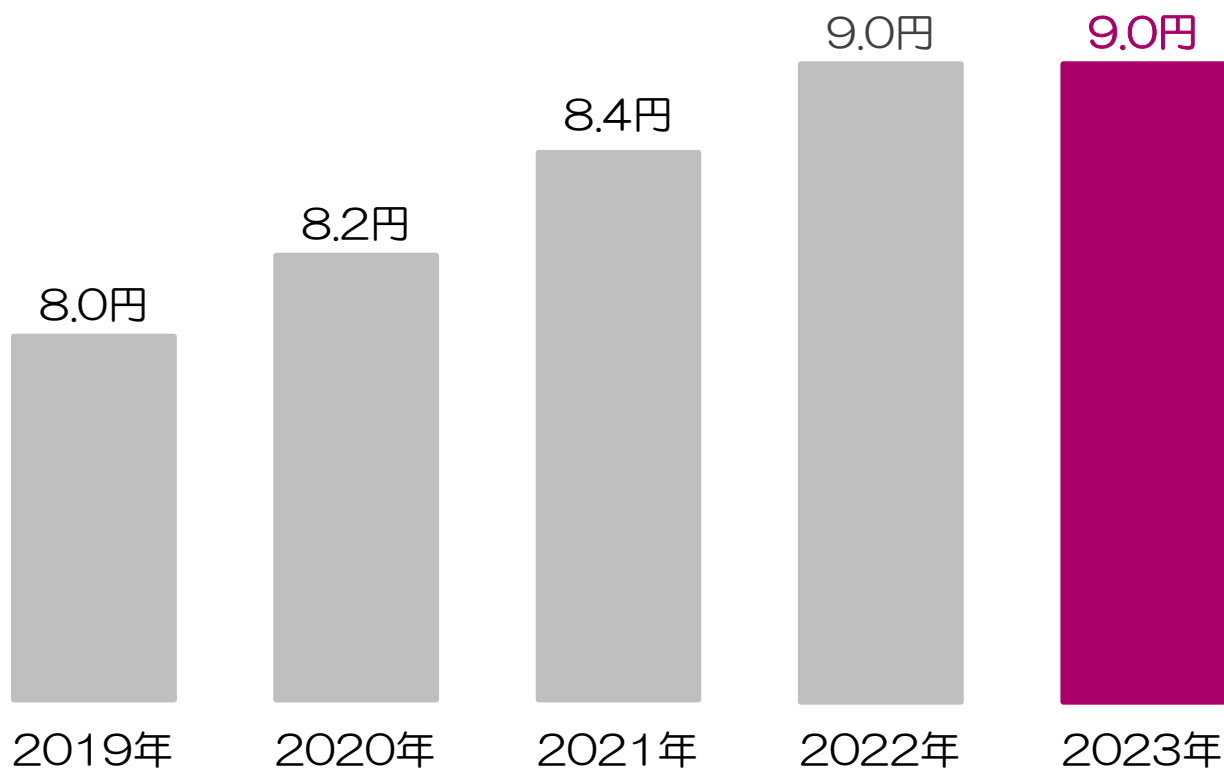
- 今後のこども政策の基本理念
 - こどもの視点、子育て当事者の視点に立った政策立案
 - 全てのこどもの健やかな成長、Well-beingの向上
 - 誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援
 - こどもや家庭が抱える様々な複合する課題に対し、制度や組織による縦割りの壁、年齢の壁を克服した切れ目ない包括的な支援
 - 待ちの支援から、予防的な関わりを強化するとともに、必要なこども・家庭に支援が確実に届くようプッシュ型支援、アウトリーチ型支援に転換
 - データ・統計を活用したエビデンスに基づく政策立案、PDCAサイクル（評価・改善）

利益配分に関する基本方針

当社は、将来の事業計画と財務体質強化のため必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2023年12月期の配当金について

2023年12月期の配当予想につきましては、**1株当たり9.0円**で実施予定。



SDGs：ジェンダー平等を実現しよう

5 ジェンダー平等を
実現しよう



男女平等を実現し、
すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

(経営理念)

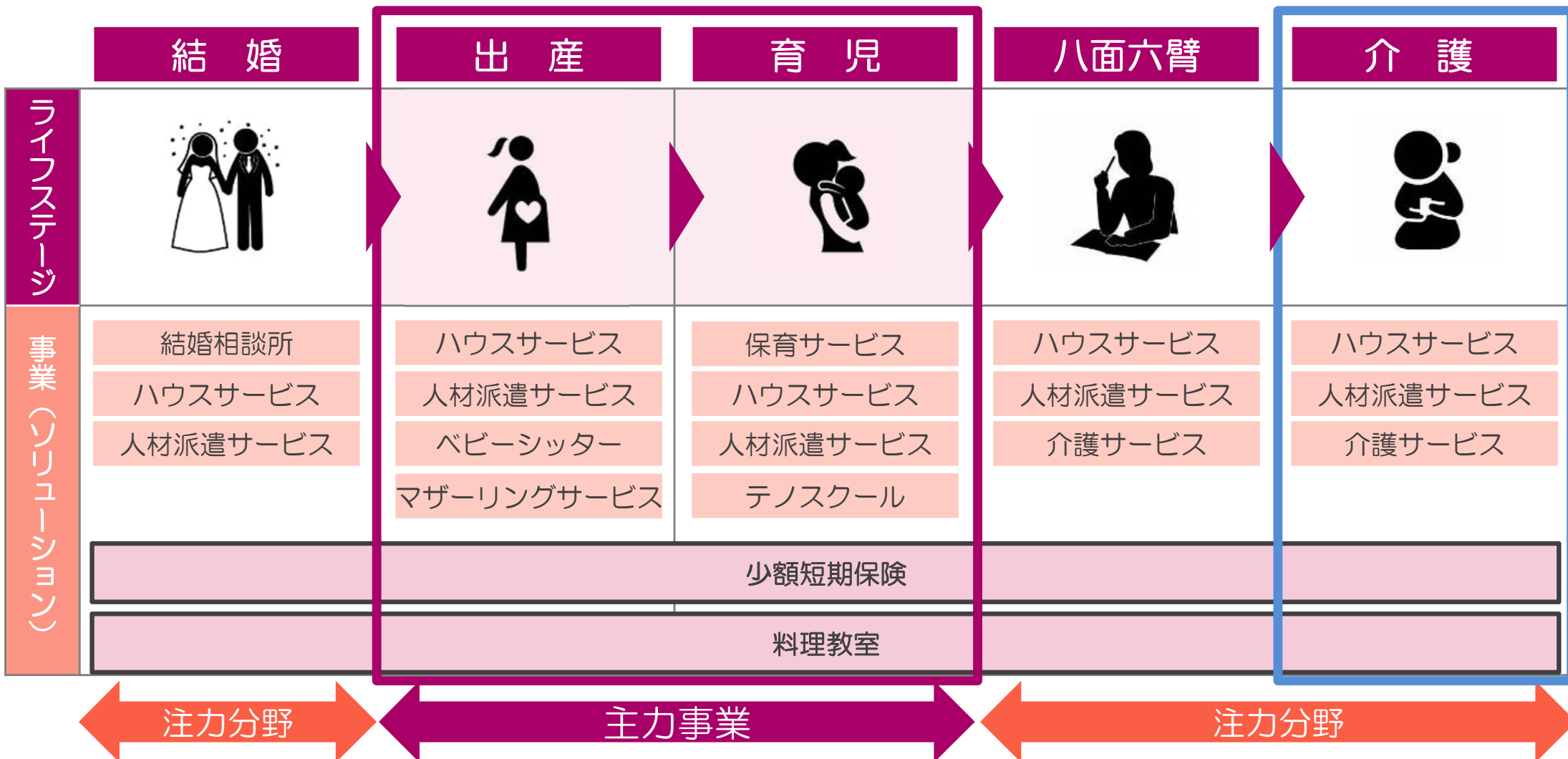
私たちは、女性のライフステージを応援します。
 私たちは、相手の立場に立って考えます。
 私たちは、コンプライアンスを推進します。
 私たちは、事業を通して社会貢献致します。

(ビジョン) 女性が活躍する社会の創造

(戦略) 女性が活躍する事業展開

女性が活躍する事業展開とは
 育児・家事・介護をしても働き続けられる事業

強化



中期経営計画と長期ビジョン

基本方針

2022年2月14日付

- 1) 公的保育事業、受託保育事業における事業拡大
(M&Aによる事業拡大も含む)
- 2) 「サービス品質」を追求し、選ばれる施設づくりを行う
- 3) 人事制度と人材育成制度の一体改革に着手する
- 4) 新規事業（保育以外の主力事業へ）を立ち上げる
(将来への投資として、多くの種まきを行う)
- 5)※ 介護事業における事業拡大に注力し、公的保育事業や受託保育事業に
続く柱の事業へ成長させる

※ 5. 介護事業における今後の事業拡大について新たに追加

「 teno VISION 2030 」

時代に求められるサービスを提供するプロフェッショナル集団となり、働き手にとって最も自己実現が可能な家庭総合サービスグループを目指す。

働き手視点

- > 適切な運営で、心に余裕をもって勤務可能
- > グループ全体の収益が高いため、処遇は他社よりも高く設定されている
- > 客観的な評価体系、しっかりした人事制度が構築されており、やりがいを感じる
- > 人材育成体系が整っており、自己研鑽できる
- > グループ内の職種・働き方が多様で、自身の現状に合った働き方が選択できる

ビジョンの
実現により、
選ばれる
企業集団へ

顧客・クライアント視点

- > 便利で安心、行き届いた質の高いサービス
- > 時代のニーズに合った付加価値の提供
- > テノ、グループのビジョンに共感でき、圧倒的な親近感があり、信頼できる組織
- > 極めて透明な情報開示と財務の健全性
- > 対価に対するサービスレベルが適切である
- > 個々の組織やチームの運営がうまくまわっていることが、外部からもみてとれる

長期ビジョン「teno VISION 2030」による事業拡大イメージ

-事業拡大戦略-

- 戦略1：保育関連事業の拡大
- 戦略2：新規事業の創出
- 戦略3：M&Aによる事業拡大

売上高

500
億円

介護・その他事業
売上高
約6割に拡大

介護・
その他事業

60%

CAGR※
2桁成長

保育関連
事業

40%



※CAGR: Compound Annual Growth Rate 年平均成長率

Section4

トピックス

年 月	事業活動概要
2022年1月	【M&A】 株式会社フォルテの株式取得
2022年4月	【新規開設】 認可保育所 1 施設（公的保育事業） 介護施設 1 施設（通所介護施設）
2022年5月	【新規事業】 プラットフォームサイト『保活アシスト』の開設
2022年6月	【グループ取組み】 チームエンゲージメントセンター 保育みらい研究所 Compassの設立
2022年8月	【PR】 『保活アシスト』がキッズデザイン賞・グッドデザイン賞 受賞
2022年11月	【M&A】 株式会社ホームメイドクッキングの株式取得
2022年12月	【社会貢献】 オンラインによる「第5回保育士資格取得支援講座」 テノスクール（tenoSCHOOL）において無償開講

(2022年1月31日)

介護施設

株式会社フォルテの株式取得

(子会社化)

(持株比率：100%)

(目的) 介護事業のサービスラインアップの拡充



【経営理念】関わる全ての人の、人生の「豊」に寄与する

【事業内容】介護事業、高齢者向け住宅の運営事業

- 2018年4月に(株)介護事業研究会の生活環境部が独立
- **大阪府内に介護施設を4施設運営**

住宅型有料老人ホーム

Care Bridge ケア・ブリッジ 永和

サービス付き高齢者向け住宅

Care Bridge ケア・ブリッジ 下松

住宅型有料老人ホーム

Care Bridge ケア・ブリッジ 河内花園

住宅型有料老人ホーム

カリットルウス 豊中・浜

『喜・楽・安・信』

喜び、楽しみ、安心、信頼

ご入居者様一人一人が望まれる『喜・楽・安・信』を受け止め、その実現を積み重ね、私たち自身がすぐにでも入居したいと思えるようなホームづくりに努めます。



ほっぺるランド

(2022年4月1日)

新規オープン

ほっぺるランド清澄通り勝どき

■ 基本情報

名称：ほっぺるランド清澄通り勝どき

開園日：2022年4月1日

所在地：東京都中央区勝どき三丁目

最寄り駅：都営大江戸線・勝どき駅より徒歩2分

■ 保育理念

子どもには、安全な環境の中で身体的・精神的発達が得られる養護と教育が一体となった保育を提供します。

家庭のワークライフバランスを実現できる育児支援を行い、地域の人々や関係各機関と連携し、未来を担う子どもの成長を共に喜び合います。

■ 保育目標

- 生きる力を育てる
- 思いやりのある豊かな心と個性を育む
- 友だちと協力する力を養う
- 豊かな想像力や創造力、好奇心を育む



新規オープン

(2022年4月1日)

元気のふる里デイサービス那珂

元気のふる里デイサービス那珂 新規オープン。

元気のふるさとデイサービス那珂では、ご利用者さまが末永く自立した在宅生活を送れるよう、一人ひとりに合わせた無理のない訓練メニューを実施いたします。最新のリハビリ器具や特別浴槽・充実のレクリエーションで、ご利用者さまから「今日も来てよかった」といっていただけるサービスを提供いたします。元気のふるさとデイサービス那珂は、福岡市内3つ目の施設となります。



プラットフォームサイト

(2022年5月31日)

『保活アシスト』

保活アシストは、保活※にかかる負担を軽減するために、保護者さまと預かり施設とをつなぐ「場」（プラットフォーム）です。



5 ジェンダー平等を実現しよう

ターゲット

5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。

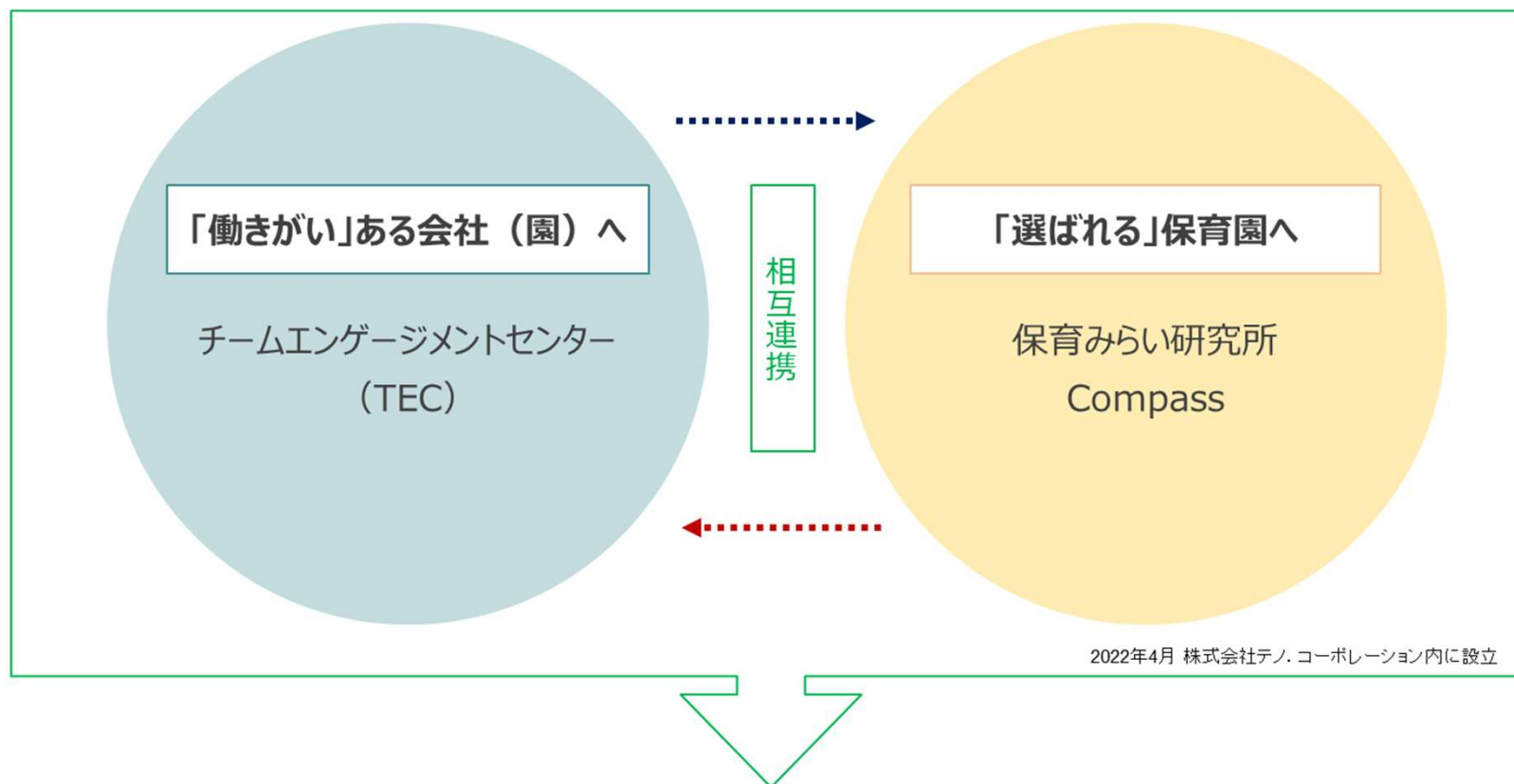
※指標 5.4.1 無償の家事・ケア労働に費やす時間の割合（性別、年齢、場所別）

※保活とは子どもを認可保育園等の預かり施設に入れるために保護者が行う活動です

「teno VISION 2030」を実現するための取り組みを開始(2022年6月30日)

チームエンゲージメントセンター

保育みらい研究所 Compass



2つの取組みがバラバラに展開するのではなく、相互に連携しながらよりよい園（会社）づくりを推進していきます。

※1：TECとは、職員一人ひとりにとって「いきいき働ける会社」「働き続けたい会社」であるために、「働きがい」に着目し本部・保育園が一体となって企画・推進するプロジェクト組織です。

※2：「保育みらい研究所 Compass」とは、「保育園での豊かな実践の共有と学び合い」、「保育・教育・子ども子育ての専門家との共創」のためのプラットフォームです。

『保活アシスト』がキッズデザイン賞 グッドデザイン賞を受賞

(2022年8月24日)
(2022年10月11日)



【第16回キッズデザイン賞受賞】
【2022年度グッドデザイン賞受賞】
保護者と保育園をつなぐ
プラットフォームサイト「保活アシスト」

 保活アシスト
HOKATSUASSIST



女性のライフステージを応援する株式会社テノ。サポートがリリースしました、保育施設・保護者さま双方の課題を解決するプラットフォームサイト「保活アシスト (<https://hokatsuassist.com/>)」が、特定非営利活動(NPO)法人キッズデザイン協議会主催の「**第16回キッズデザイン賞**」及び益財団法人日本デザイン振興会主催の「**2022年度グッドデザイン賞**」を受賞しました。を受賞しました。



※キッズデザイン賞は、「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に2007年に創設されました。

グッドデザイン賞は、国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に1957年に創設されました。

(2022年11月30日)

新規事業

株式会社ホームメイドクッキングの株式取得

(子会社化)

(持株比率：100%)

(目的) 食を通じた新たなイノベーションの創出

【基本理念】「私たちは食の安全と健康を追求し、社会に貢献する企業であり続けます」

【事業内容】料理教室ホームメイドクッキングの運営、食材・食品・調理器具等の販売

- 創業以来50年の運営実績を持つ高いブランド力
- 全国に直営校56校運営、指定校300校を運営



(2022年12月～2023年5月)

第5弾

無償オンライン保育士講座

新型コロナウイルス感染症対策応援企画としては第5弾目の
無償オンライン保育士講座を開講中です。

累計登録者数は1000名以上 視聴回数約1万9千回を突破



年 月	事業活動概要
2023年1月	【M&A】 セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の株式取得
2023年4月	【新規開設】 認可保育所 1施設（公的保育事業）
2023年4月	【組織再編】 連結子会社間の合併 存続会社：株式会社テノ、コーポレーション 消滅会社：株式会社テノ、サポートの合併

- 当社の100%子会社である株式会社テノ。コーポレーションを存続会社とし、同じく当社の100%子会社である株式会社テノ。サポートを消滅会社とする吸収合併を行います。

目的

企業構造のスリム化により経営資源の有効活用と業務効率改善を行い、事業基盤の強化を図ること。 (2023年4月1日合併予定)

teno. CORPORATION

全国展開の認可保育サービス
【ほPPERランド】他



小規模認可保育サービス
【ほPPERランド】他



teno. SUPPORT

【院内・事業所内 保育所】



【学童保育所等】



ベビーシッター
サービス



介護サービス



保活事業



テノスクール(tenoSCHOOL)



人材派遣サービス



結婚相談所事業



(2023年1月26日)

新規事業

セーフティージャパン・リスクマネジメント株式会社の株式取得 (子会社化)

(持株比率：100%)

(目的) 女性のライフステージに応じた保険サービスの開発・提供



【事業内容】賃貸住宅向けの少額短期保険の開発・販売
・自社内で商品開発を行える機能を有しており、顧客のニーズに合わせた独自の保険の開発が可能
・勃興期から少額短期保険事業を行ってきたブランド力500を超える販売代理店網を有する





(2023年4月1日予定)

新規オープン

ほっぺるランド相生橋つくだ



■ 基本情報

名称：ほっぺるランド相生橋つくだ

開園日：2023年4月1日予定

所在地：東京都中央区三丁目2番

最寄り駅：東京メトロ有楽町線・都営大江戸線
月島駅 徒歩2分

■ 保育理念

子どもには、安全な環境の中で身体的・精神的発達が得られる養護と教育が一体となった保育を提供します。

家庭のワークライフバランスを実現できる育児支援を行い、地域の人々や関係各機関と連携し、未来を担う子どもの成長を共に喜び合います。

■ 保育目標

- 生きる力を育てる
- 思いやりのある豊かな心と個性を育む
- 友だちと協力する力を養う
- 豊かな想像力や創造力、好奇心を育む

teno.

HOLDINGS

【お問合せ先】

株式会社テノ。ホールディングス

取締役管理本部長 岡田 基司

福岡県福岡市博多区上呉服町10-10呉服町ビジネスセンター5F

TEL : 092-263-3550 FAX : 092-263-3557

- 本資料に掲載する情報は、弊社の財務情報、経営方針、経営指標等の提供を目的とし、細心の注意を払って掲載しておりますが、掲載情報の完全性・正確性・安全性・その他についていかなる表明並びに保証を行うものではありません。
- 本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。これらは、現在入手可能な情報に基づき、弊社の仮定及び判断に基づくものであり、今後の経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定が将来実現しない可能性があります。
- 本資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 今後の新しい情報や将来の事業などの発生が生じたとしても、本資料に含まれる見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き必ずしも修正するとは限りません。